

## 定住・人口対策の推進策は

総合戦略事業の効果検証を分析し、さらに効率的な事業を盛り込んでゆく



長島 幸男

**Q 移住・定住の促進事業**  
どのような取り組みをして、その成果・実績はどのようになっているか  
また具体的な推進策は。

**A 企画財政部長 主な事業**

業として、移住促進住宅取得補助は、平成29年度より開始し、現在までに28件71人となっており、一番多い転入先は石岡市13件31人、次いで笠間市から4件14人となっている。次に同窓会応援事業は、平成28年度から開始し、実績は、11件450名の参加、出産祝金事業は、平成29年度からで、578件、ダイヤモンドシテイプロジェクト推進事業は、平成29年度から結婚・移住定住・市の情報発信と複合的な内容で種々の事業を実施している。今年から、ヨーグルトのプレゼント転入おもてなし事業、妊娠された方に初たまごプレゼント事業等がある。

現在第2次総合戦略の策定を進めておりそ

の効果検証を分析し、事業の取捨選択を行い、さらに効率的な事業を盛り込んでいきたいと考えている。

※本件は、全庁にまたがったの事業であり数多くの計画が示されている。毎年度ローリングをしながら進捗状況を確認し、見直しするところは見直し新たな時代に対応できるまちづくりを進めていきたい。

**【その他の質問】**

- ①情報公開制度について。  
○本市の取り組みについて。  
・情報公開制度の内容について。
- ②都市計画道路の見直しについて。  
○本市の現在の状況について。  
・本市で計画決定している都市計画道路は、何路線か。  
又整備済みは何路線か。  
・未整備路線の計画を継続するのか変更・廃止するのか。

## 飯前地区の茂内池浚渫工事のあと護岸工事は

今年度の浚渫工事に続いて護岸工事を来年度実施する



石井 旭

**Q 基地周辺の全体整備**  
計画について。特に、ため池整備は飯前地区の茂内池を本年度、浚渫工事を実施するが、護岸工事は考えていないのか。

**A 都市建設部長 主な施策**

策としては、地区要望道路の整備、航空機騒音を軽減する住宅防音工事の充実である。地区要望道路の整備については、国からの交付金を活用して、毎年6路線の道路整備事業が実施できるよう目指している。住宅防音工事は、国からの補助金を活用し、申請者に対しての空調機及び防音建具の機能復旧工事の早期整備の充実を目指している。

茂内池については、葦の繁茂及び土砂の流入により貯水量減少が見られ、ため池機能が低下するなど水稲の作付に影響が生じており、また、護岸堤やフェンスの破損により転落などの危険が考えられるため、

改修工事を実施する。

**Q 小川・橘小学校跡地**  
利用計画は、どのように考えているのか。また、地域住民の意見を募集してはと思うが、考えを伺う。

**A 総務部長 小川小学校**

跡地利用計画は、素案では子どもたちが安心して遊べる広場や、市民の交流拠点として活用することとしている。また、橘小学校の跡地利用計画については素案では小川運動公園の補完的な活用を図りスポーツを中心に地域の子どもたちから高齢者まで多世代が集う交流の広場として活用することとしている。作成した素案を基に、今後、学校区ごとに区長さんを中心とし、土地の関係者などとの意見交換を行って、その後、パブリックコメントを経て決定したいと考えている。



危機管理体制の整備と学校安全の確保について

危険箇所の早期発見及び迅速な対応に努める

植木 弘子

**Q 川崎市の事件を受けて本市の対応は。**

**A 教育部長** 登下校中に何かあった際には「子どもを守る110番の家」や「駆け込み110番のガソリンスタンド・コンビニエンスストア」等へ駆け込むなど、大人に助けを求めるよう指導。教職員によるパトロール。バスの運転手による乗り降り時周辺の安全確認。見守りや付き添いボランティアグループの方々や保護者の皆様には、継続して見守り活動をしていただけるよう学校を通じて要請。

**Q 危機管理体制の整備と学校安全の確保について。**

**A 教育部長** 全国的に児童生徒が巻き込まれる交通事故や事件が相次いでいることから、教育委員会ではこれまでの危険箇所対策についての手続きを見直し、対策に複数の機関との確認・協議が必要な箇所については、随時学校からの報告を求めた上で、合同点検が必要な箇所については、合同点検を実施することとし、

その他の危険箇所については、「通学路危険箇所報告書」にて危険箇所の報告を教育委員会が随時受け付け、関係機関、関係部署において対応することで、日々通学路における危険箇所の早期発見及び迅速な対応ができるよう努めている。

**【その他の質問】**

○避難所となる公立学校施設の防災機能について。

・体育館へのエアコン設置を要望

○LLブック(やさしくてよみやすい本)の導入について。

○ピロリ菌感染検査の費用助成について。

・胃がんリスク検査の集団健診、助成を要望。

○風疹の追加的対策について。



▲やさしくて読みやすい本LLブック

市民のための行政を積極的に行っていますか

安心して暮らせるまちづくりに取り組む

戸田 見成

**Q 幼稚園・保育園の無償化が、この10月より行われる予定。課題が何点かあると思われませんか？**

**①0〜2才児の保育料は無償になるのか。**

**A 福祉部長** 今般の無償化の対象にならない0才から2才までの子どもたちに対しては、住民税非課税世帯の保育を必要とする児童を対象に無償化を実施する。

**②給食費は有料といわれていますが、市としては保護者への補助など考えているのか。**

**A 福祉部長** 無償化以降は、主食分と副食分の給食費を保護者が直接、施設に支払う。ただし、年収360万円未満相当の世帯の子どもと施設等同時入所の全ての世帯の第3子以降の子どもたちについては副食の費用が免除対象になり、相当費を施設へ公定価格の給付として加算する。

**③保育士・教諭の待遇改善を行うのか。**

**A 福祉部長** 賃金改善が実施されるよう配慮されている。

**Q 小美玉市の諸学校の合併により、教育内容の向上が、求められているが、現在どのような方針で**

**取り組んでいるのか。また職員の質向上を図っているのか。**

**A 教育長** 恵まれた教育施設、教育環境の中で、学校や地域の特色を活かし、さらなる教育活動の充実。小学校、中学校の教職員合同の研修会や連絡協議会を計画的に実施する。

**Q 市長！企業誘致を先頭にして取り組むのは如何か。**

**A 市長** 小美玉市のイメージアップや情報発信を行っており、企業と情報交換の機会があるので、事業所の増設等の企業誘致にトップセールスとして努める。

**Q 幼児や小学生の悲惨な事件が、昨今報道されているが、どのように考えているのか。**

**A 危機管理監** 市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図り、地域防犯力の向上に努める。

**Q 地域(学区)コミュニティの組織は学校の統合により、今後どのようになるのか。**

**A 市長公室長** より良い制度づくりのため、組織のあり方など議論・協議を行う必要がある。

## 羽鳥駅全体完成はいつごろか

### 今年度内の全体完成を目指す

村田 春樹



**Q** 羽鳥駅周辺整備事業の進捗状況について。全体の完成はいつごろを予定しているか。

**A** 都市建設部長 東西自由通路が6月14日から橋上駅舎が6月15日からそれぞれ一部供用開始。今年度内の全体完成を目指す。また、羽鳥駅東西駅前広場整備については、橋上駅舎及び東西自由通路工事の進捗を踏まえて、JRほか関係機関との調整の上、駅前広場整備のための施工ヤードを確保し、今年度内に工事着手できるように進めていく。

**Q** 防犯面にも配慮した施設となるとのことだが詳しく伺いたい。

**A** 都市建設部長 安全面の確保につきましては、全体供用開始までに防犯カメラを東西自由通路内に4カ所、1階トイレ付近に2カ所、橋上駅舎内に14カ所、駅前広場西口に4カ所、東口に5カ所設置する予定であり、防犯カメラ設置に

より犯罪の抑止につながるものと考えている。

**Q** 既存企業へのフォローアップはどのようなように行っているのか。

**A** 都市建設部長 既存企業へのフォローアップについては、昨年度は、市企業連絡協議会の全企業を含む41社の企業訪問を実施。訪問では、事業所等の新設・増設に対する市の優遇制度などをまとめたパンフレットを作成し、小美玉市独自の各種制度の説明とともに企業側の今後の事業計画や課題、市に対する要望などの聞き取りのほか、関連企業の進出などについて情報交換をしている。

**【その他の質問】**

○新規企業の誘致も大切だと思うが、既存企業の関連会社を小美玉市に呼び込む努力をどのように行っているのか。

## 熱意ある努力する地方を国は支援するが

### コンパクト+ネットワークで進めていく

鈴木 俊一



**Q** 地域のコミュニティはまちづくりを進めていくうえで重要な位置を占めていくと考えているが、今後は。

を営んでいる方々がどのような問題点があるか実態調査をしてはどうか。

**A** 市長公室長 商工会が蓄積しているデータ、経験を共有し、個人事業者等が安定した経営に繋がるような施策を検討していく。

**A** 市長公室長 引き続き学区まちづくり組織を中心に、対話を重ね、これまで同様に財政支援を行いながら、より一層市民協働のまちづくりを推進していく。

**A** 市長公室長 マイナンバーカードを活用した自治体ポイント制度の導入など検証したい。

**Q** 日本一のまちづくり

**Q** 小川南小では無料のスクールバスが始まった一方で、堅倉小区では、有料のバスを利用しているところがある。同じ市内で公平にすべきではないか。

**A** 総務部長 参考にして検討してみたい。

**Q** 市の再任用職員の勤務条件は公平になっているか。

**A** 市長公室長 教育の公平性や子育て支援に立ち、解決すべき課題である。

**A** 総務部長 等級によって違いはあるが、公平な中での再任用となっている。

**Q** 市職員再任用委員会

**Q** 人口減少の原因の中心は、働く場所がないことにある。現在市内で事業

は直近ではいつ協議をしたのか。

**A** 総務部長 平成30年10月25日に実施。

**Q** 市長公室長 市ホームページ上で情報発信に努める。

**Q** 市職員再任用委員会

**A** 総務部長 平成30年10月25日に実施。

**Q** 人口減少の原因の中心は、働く場所がないことにある。現在市内で事業

は直近ではいつ協議をしたのか。

**A** 総務部長 平成30年10月25日に実施。

**Q** 人口減少の原因の中心は、働く場所がないことにある。現在市内で事業

は直近ではいつ協議をしたのか。

**A** 総務部長 平成30年10月25日に実施。



## 市民主体のシティプロモーション展開は

### 担い手となる人財とネットワークを活かす

谷仲 和雄

**Q** 第1回全国ヨーグルトサミットのPR動画「小美玉ヨーグルトストーリー」が全国広報コンクール映像部門で日本一に輝いた。これは、現在取り組む市民主体のシティプロモーションを一層進める原動力となる。市民主体のシティプロモーションへと繋げていくという明確な方向性と継続性を踏まえ、今後の展開を聞く。

**A** 企画財政部長 歴史あるコンクールで日本一に輝いたことは名誉なことであり、6月7日に北九州市で開催された全国広報広聴研究大会において、先進事例として全国2自治体のうちの1つに選出され、事例発表したところ。本市の取り組みが全国から注目を集めており、「市民主体のシティプロモーション先進地・小美玉市」として、今年度策定するシティプロモーション指針にも市民主体で進めていく方向性を打ち出したい。また、ヨーグルトサミットをはじめとした、ダイヤモンドシティプロジェクトの成果として得られた、市民主体のシティプロモーションの担い手となる人財とネットワークを活かし、昨年度から取り組み始めた「ローカルフォート」や「民泊」、「市民ガイド」による体験型観光」などをはじめとした様々な事業を、できるだけ市民が主体的に立案し、持続的かつ常に革新的に実施しながらシビックプライドが醸成されていくようにするため、「小美玉市シティプロモーション推進懇談会」において、シティプロモーション指針をもとに評価する体制を整えていく。



▲市のホームページから視聴できます

## デジタル技術応用で行政事務と市民の利便性向上を

### 市民へ広く周知させ普及啓発に努めていく

木村 喜一

**Q** 市有財産を活かし財源確保の為、賃貸使用料等を増やす仕組みの構築を望む。

**A** 総務部長 市有財産の有効活用と自主財源確保に努めていく。

**Q** マイナンバーカードを活かした市の現在の状況を伺う。

**A** 市民生活部長 各種証明書コンビニ交付を行っている。昨年度のコンビニ各種証明書交付件数は900件を数え、徐々に利用者が増えていくが、交付率は依然、12・2%と伸び悩んでいる。

**Q** 全国、県平均を普及率で下回っているが、いかにして普及を拡大してゆかか。

**A** 市民生活部長 マイナンバーの魅力度アップにより加速度的な普及促進を目指していく。  
**Q** カードの利活用にポイント等を付与し公共施設等で利用できる仕組みの構築を望む。

**A** 市民生活部長 関係部署や関係機関との協議を通じて、引き続き検討をしていく。

**Q** 電子母子手帳の導入を望むが本市の現在の状況

と将来的な施策を伺う。

**A** 市民生活部長 現在「おみたま子育てアプリ」について、妊娠届出時に活用方法を説明し、アプリのダウンロードを勧められている。市民に広く周知される。市民に広く周知され、利用者のニーズに応えられるよう内容を充実させ、普及啓発に努めていく。

**Q** 危機管理としてJアラートが鳴らさず防災行政無線も使用されないがその原因と理由を伺う。

**A** 危機管理監 3月に更新した機器の不具合により防災行政無線からの放送が出来なかった。ただちに県並びに国に報告を行い、保守業者による復旧作業に取り掛かり、正常に動作することを確認した。

【その他の質問】

○現在見直し中とされる農振地域、どこをどう換える本市と農業を持続的に発展させるのか施策を伺う。

○空港や高速道路、JR等の全ての交通インフラを持つ本市の土地利用は県や国と一体的に計画し事業化すべきと考えるが本市の現状は。

## 住民福祉のため、敏速な事業執行を

### 繰越明許費の設定は必要額とし適切な執行管理を行う



関口 輝門

**Q** 予算執行に関わる繰越明許費は、行財政改革の主張は「健全な財政規律を維持し、予算の効率性を高め質の高い、住民サービスの提供を追究する」ことにある。①繰越明許費の発生事由は。②繰越額が多額に累増、安易に利用していないか。③事業の進捗状況、完了度合いの把握検討は。④継続費及び事故繰越し制度の関連と活用は。⑤多額にある決算不用額との関連は。

**A** 企画財政部長 ①単年度主義の例外として、翌年度に繰り越しできる。不測の事態等で年度内の事業完了が困難な場合また、国庫補助事業で交付決定が年度末となり、事業着手ができないなど。②合併特例債事業など事業費が多額となることが要因、妥当性を確認し、国補助金は関係機関との協議を踏まえ進められている。③予算執行は単年度で事業完了が原則、事業所管課では進捗状況を踏まえ、財源確保を睨みつつ早期完了を心がけ執行している。大規模工事で複数年度を要するものは、計画的に実施するため継続費を設定する。事故繰越しは避けがたい事故が生じたため、年度内に支払いが終わらない場合適用される。ご指摘の広域幹線道路事業は、プロセスが複数年度要しますが、それぞれ、契約の相手方が異なることから繰越明許費を採用。⑤繰越明許費は不用額に当たらない。但し、繰越予算で執行されなかった額は不用額となる。ご指摘の、29年度の不用額は国保会計の操出金が、予算額より少なく支出したことが要因である。

## 誰もが払える国保税に

### 均等割に対して関係機関と連携して国に要望する



福島 ヤヨヒ

**Q** 当たり前の生活のために税を払うのが当たり前だが、国保税は子供にも払う義務のある均等割りがあり高額になってしまふ。マル福制度で子供の税をなくして欲しい。また滞納世帯へは充分な配慮と対応を。

**A** 教育長 働き方改革のためには行事等の整理や見直しを行う必要があると考えている。家庭や地域の協力で子供たちを育てる体制が不可欠の今、各学校での特色を生かして進めていきたい。音楽の集いや記録会などは、指導要領改定により授業時数の確保についても、知恵を絞りながら進めていく。

**A** 保健衛生部長 国保は他に比べ加入者平均年齢が高いことから、一人当たりの医療費が高く、平均所得が低いという状況。均等割りに対して全国知事会をはじめ各団体から要望が提出されており、市としても連携して要望する。滞納世帯には生活実態の把握をし、充分な対応をしていきたい。

**Q** 太陽光発電設置に際しては環境問題や近隣とのトラブルなど起きないよう法的指導ができる条例づくりを。

**Q** 教師の働き方改革はどのように進められるのか。子供の部活や情操教育はだれがどのように担っていったらよいか。外部指導者などを活用して子供の心や能力を伸ばす指導教育も大切にして欲しいが。

**A** 市民生活部長 県ガイドラインに沿って適正な指導を進めるとともに、効果、検証を図りながら市独自の規制の必要性を検討していきたい。

**【その他の質問】**

○若者などが空き店舗利用などによって起業できる支援策でにぎわいのあるまちづくりを。



小美玉温泉ことぶき指定管理事業の管理運営は

利用者の満足度を把握、一層のサービスの向上を図る

小川 賢治

Q 平成31年度（令和元年 度）の新規事業について  
 (1) ようこそ小美玉！おもてなし事業の進捗状況は。  
 A 産業経済部長 4月の転入者199人、5月200人にヨーグルト引換券交付引換の割合は約54%。小美玉市のヨーグルトを知っていたり、機会に繋がった。  
 (2) ダイヤモンド・エッグプレゼン ト事業初ま（プレゼン）の状況は。  
 A 産業経済部長 4月に母子健康手帳の発行をした27人に引換券を配布。引換券の割合は約74%だった。「日本一の鶏卵の産地」PRに努力していく。  
 (3) 小美玉温泉ことぶき指定管理事業について。  
 (1) 利用者の状況は、1月から3月まで1日平均利用者、約200人と約45%減少、4月から5月の実績でもほぼ同様。使用料収入の実績は、1月から3月まで、1日あたり前年の約27%増、4月5月は約30%増となっている。(2) 管理運営は、営業時間が夜10時までと2時間延長され、利用しやすい



▲（愛称）小美玉温泉 湯～GO！

い時間帯になった。利用者の満足度を把握するためアンケートを実施、市民の声をきちんと把握、一層のサービス向上を図っていく。  
 Q 観光行政について(1) GW期間の観光客数の状況について。  
 (2) 経済効果は。(3) 観光振興策は。  
 A 産業経済部長 (1) 茨城空港が搭乗者を含め約5万7200人、空のえき「そ・ら・ら」約2万4900人、その他の観光施設合計で10万5000人で、前年より9%増。(2) 把握が困難だが、一部施設のみで、空のえき「そ・ら・ら」が売り上げ12・7%増加、スカイアリーナ13・7%の増加。(3) 観光振興策については観光協会と連携、体験型観光プログラムの開発、新たな技術を活用し、小美玉市の観光誘客を推進していく。

新ごみ処理場建設について

順調に進捗するよう鋭意努力する

大和田 智弘



Q 新ごみ処理場建設について。本体工事の進捗状況について。  
 A 市民生活部長 現在まで順調に進められて予定通り2年後の令和3年4月の供用開始を目指す。  
 Q 搬入路整備について。  
 A 市民生活部長 周辺道路の用地買収は17件中14件の契約を終了している。今年度秋頃には道路改良工事に着手予定。  
 Q 1日あたりの搬入予想台数又、年末等の最大予定台数は。  
 A 市民生活部長 1日あたり予定台数は約400台、年末等は約1000台を見込んでいる。  
 Q ごみ処理場への渋滞緩和策について。  
 A 市民生活部長 施設前道路に右折レーンの整備や施設内に滞留スペースを設けるほか、計量器をこれまでの1台から3台に増やすなど渋滞対策を計画している。  
 Q 市道玉5号線の側溝にふたを要望。  
 A 都市建設部長 地元行政区と施工方法を検討し早期に工事に着手する予定。

Q 厚生福祉施設建設について白雲荘に変わる福祉施設の建設予定は。  
 A 市民生活部長 本年度内に予定地を特定し令和4年度の開館を目指して進めていく。  
 Q レンコンの綿虫とカモによる食害対策について。  
 (1) カモ対策について。  
 A 産業経済部長 被害状況は、29年度が、1・6haで1388万8000円、30年度が2・1haで507万3000円である。市では、29年度より被害が集中する4月から5月にかけて、小美玉市有害鳥獣捕獲隊を組織し追い払いを実施。また、今年度から県の補助金を活用した鳥獣被害防止施設整備促進事業に取り組み、防鳥ネット設置を支援する。  
 (2) ネモグリセンチュウ対策について。  
 A 産業経済部長 駆除に有効な農薬が開発中であり、各種試験を実施。試験結果を踏まえて農林水産省から「農薬登録」となるが、茨城県では、今年の3月に早期登録の要望を農林水産省に提出しており、数ヶ月程度登録が早まる見込み。